

目次

防災、安全・安心を確保する社会基盤整備 特集

3	巻頭言	性能の明示による安全・安心の具体化	常田 賢一
4	行政情報	土砂災害防止法の改正	野村 康裕
7	行政情報	水門・陸閘等の安全かつ確実な管理運用の推進 水門・陸閘等管理システムガイドラインの改訂	河野 真典
12	行政情報	東日本大震災から4年半が経過して	笹森 秀樹
20		「気象情報リモート監視ネットワーク」と 「道路管理・車両運行システム」の連携による防災・減災への取り組み 群馬県みなかみ町の事例	佐藤 英明・鈴木 範生
25		流水型ダムの建設に向けて 立野ダム建設事業の概要	宮成秀一郎・寺下 進一・森 康成
30		ジオテキスタイルを用いた震災時の道路段差軽減工法 ジオブリッジ工法	山内 崇寛
34		格子状補強枠を有するシートを用いた盛土構造物の液状化対策 パレスシート工法による不同沈下の軽減	岡本 道孝・小原 隆志・北本 幸義
38		がれき残渣を有効活用した建設資材 アップサイクルブロック	川本 卓人・森田 晃司
43		粘り強い堤防構造の開発 FRESH BANK 工法	北島 明
49		火山防災対策の推進 「御嶽山噴火を踏まえた今後の火山防災対策の推進について(報告)」 及び活動火山対策特別措置法の改正の概要等 …………… 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(調査・企画担当)付	
55		港湾構造物における巨大地震対策	野津 厚・小濱 英司・大矢 陽介
60		ケーブルテレビ事業者が考案した「防災行政無線をテレビで聞く」システム テレビリモコンの簡単な操作で実現する効果的な災害情報伝達	瀬間 健司
64		屋上に超大型制震装置(1800t)で長周期地震動の揺れを半減	栗野 治彦
70		防災研究にかかると提案・人文社会科学と自然科学との連携	和田 一範
74	交流の広場	防災・災害分野への地球観測衛星データの利用	伊東 明彦
79	ずいそう	輝いていた昭和時代の建機	吉丸 泰生
80	ずいそう	息子との旅行日記	橋本 美春
82	部会報告	除雪機械の変遷(その12) 除雪グレーダ(4)	除雪機械技術委員会
88	新工法紹介	……………機関誌編集委員会	100 統 計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移
91	新機種紹介	……………機関誌編集委員会	……………機関誌編集委員会
95	統 計	平成27年度 建設投資見直し ……………国土交通省	101 行事一覧(2015年9月)
			104 編集後記……………加藤・江本

◇表紙写真説明◇

屋上に超大型制震装置(1800t)で
長周期地震動の揺れを半減

写真提供:三井不動産(株),鹿島建設(株)

TMD(Tuned Mass Damper:同調質量ダンパー)は古くから知られる制震技術の1つであり、建物屋上に集中

設置するだけで良く一般居室階に影響なしで工事が可能です。しかしながら超高層ビルの大地震対応とするには、千トン単位の錘を安全に支持しつつ、2~3mに達する錘の動き(ストローク)を安全に制御する錘支持機構やオイルダンパーが課題でありました。この写真は、上記の課題を解決して開発された錘総重量1800tの超大型TMDを既存の超高層ビルに設置する工事途中の状況です。